

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生活活用事業の効果検証

No	事業名称	事業の概要（計画提出時） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	決算額 （千円）	交付金充当額 （千円）	事業の実施状況	事業の効果検証
		合計	843,949	783,707		
1	伊勢市版事業継続支援金	①②感染症拡大の影響を受け、令和2年12月から令和3年3月のいずれかの月の事業収入が、前年同月の事業収入と比較して30%以上減少している中小企業者等に対して、国の一時金支援金または県の飲食店・取引事業者等事業継続支援金を受けられなかった事業者の事業継続を支え、事業全般に広く使える支援金を支給する。 ③支援金 102,650千円 （内訳） 100千円×1,019件=101,900千円 50千円×15件=750千円 業務委託料 11,000千円 ④市内に本店または住所を有する中小企業者等・小規模企業者（個人事業者を含む）等	113,650	113,000	支給決定 1,034件、102,650千円	国や県の支援金の対象とならない中小企業者1,034社の事業継続に寄与した。
2	地元の魅力再発見・店舗応援商品券事業	①中小規模店限定のプレミアム付きの商品券を発行することにより、消費者の購買意欲を高め、地域における消費を促進し、地域経済の早期回復を図る。 ②6.5千円分の商品券を5千円で販売し、その差額（プレミアム分1.5千円）及び事業執行に係る経費 ③商工会議所の商品券発行事業への補助金 308,761千円 （プレミアム分1.5千円分/冊×163,500冊=245,250千円、銀行換金・郵便局販売手数料18,341千円、印刷製本費（商品券、アンケート等）・広告宣伝費・役務費・人件費・委託料・使用料・消耗品費等45,170千円） ④商工会議所、市内事業所、市民	299,929	298,000	発行冊数 163,500冊 販売冊数 163,500冊 （申込販売148,587冊、一般販売3,792冊、感謝の気持ちお届け事業分11,121冊） 取扱店舗数 1,299店舗	プレミアム付きの商品券を販売することで、消費者の購買意欲を高め、事業期間中に市内で10億円以上が流通し、地域における消費を促進した。
3	伊勢商品・学生応援事業	①観光客の減少や外食の自粛等により苦境に立たされている市内事業者、並びに、学生生活や地元とのつながりが困難な状況にある県外在住の学生を支援するため、伊勢市の産品など市内事業者が取り扱う商品を県外在住の学生に対して応援便として届ける。また、発送作業等を市内障がい者就労施設に委託することで、市の障がい者就労支援を図る。 ②学生応援事業業務委託料に係る経費 ③委託料 14,250千円 8,250円（商品代5千円程度、梱包、手数料等含む）×1,500人+送料見込額1,875千円=14,250千円（税込） ④県外に進学している伊勢市出身の学生、市内事業者、障がい者就労施設	11,051	9,000	受付期間 R3.5.1~5.31 送付件数 1,208件	市内事業者が取り扱う商品を県外在住の学生に対して応援便として届けることにより、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による観光客の減少や外食の自粛等により苦境に立たされている市内事業者、並びに、学生生活や地元とのつながりが困難な状況にある県外在住の学生を支援した。また、発送作業等を市内障がい者就労施設に委託することで、市の障がい者就労支援に寄与した。
4	オンラインツアー等造成促進事業	①市内観光事業者が、新たな生活様式に対応する事業基盤を強化するとともに、オンラインビジネスの力を向上させるため、アフターコロナでの需要も考慮したオンラインマーケティング導入にかかる費用を助成し、地場産品のPRや消費拡大につなげる。 ②オンラインツアー等造成促進事業負担金 ③造成希望者用研修・モデルツアー実施経費：3,280千円 オンラインツアー等造成事業者支援：5,720千円（5業者） その他経費：1,000千円 ④観光協会、市内観光事業者	8,559	1,870	・参加者募集期間 5/13~5/31 ・オンライン講座参加事業所数 23事業者 ・6/16、6/23 講座実施 ・6/22、7/6 モデルツアー実施 ・7/15 4事業者に対する支援・助成を決定 ・10/7、10/16、10/30、11/12、11/23、12/14、12/19、12/24 オンラインツアー実施（参加者 計219名）	オンラインツアーやオンライン講座・イベント等を造成・進行するための物的・人的資源の整備を支援し、この取組を通じてオンラインビジネスの力を向上させることが出来た。
5	感謝の気持ちお届け事業	①市民生活を支える職業に従事する方に対し、感染症拡大の影響によるこれまでのご苦労に対して感謝の意を表し、慰労品の贈呈を行うとともに、更なるご支援をお願いする。 ②慰労品贈呈に係る経費 ③・慰労品 地元の魅力再発見・店舗応援商品券 13,500人×5千円=67,500千円 （1人当たり1冊5千円：額面6.5千円） ・郵便料 713千円（通知750カ所、慰労品送付600カ所） ・封入作業委託料 337千円 ④市内の医療関係機関、介護・障がい福祉サービス事業所・施設、保育・子育て関係施設における患者や利用者 と接する業務の従事者等	56,137	55,000	対象者11,133人へ交付（うち返還12冊） 慰労品購入5,000円×11,133冊=55,665千円	新型コロナウイルスの感染防止に努めながら医療や介護などの業務に従事されている方に対して感謝の意を表すことができ、かつ、慰労品を市内中小規模店でのみ使用できる商品券としたことで、市内における消費の促進につながった。

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生活活用事業の効果検証

No	事業名称	事業の概要（計画提出時） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	決算額 （千円）	交付金充当額 （千円）	事業の実施状況	事業の効果検証
6	介護・障がいサービス事業所支援事業	①事業所等における新型コロナウイルス感染症対策を支援することにより、利用者や家族に必要なサービスを確保し、また、入所施設においては、オンライン面会の利用を促進することで、入所者の精神的な安定と安心の確保を図る。さらに、感染拡大期において、事業所等で不足している衛生用品等を現物支給することで、事業所等における感染防止対策の補強を図る。 ②感染症対策を徹底した上で、サービス提供をするために必要な増し経費*に対する補助金及び郵便料並びに事業所等に配布する衛生用品等の購入に係る消耗品費 *補助対象とするか増し経費： オンライン面会実施にかかる費用（タブレットの購入費等） 新型コロナウイルス検査キット購入費 衛生用品等の感染症対策に要する物品購入費 等 ③・補助金及び消耗品等購入費 40,100千円 対象数：401事業所 補助金：1事業所につき100千円を限度 ・郵便料 110千円 ④介護・障がい福祉サービス事業所等	28,094	24,000	○感染防止支援事業補助金 4/27申請受付開始 ・申請 111件（92法人、291事業所） ・交付決定 111件（92法人、291事業所） 27,124千円 ○衛生用品の支給 ・支給品および支給先 抗原検査キット 87事業所 使い捨て手袋 274事業所 フェイスシールド 102事業所 消毒薬 20事業所 ・購入費 970千円	○新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、感染防止対策を実施した介護・障がい福祉サービス事業所に対し、その費用の一部を補助し事業所等における感染防止対策の補強を図った。 また、入所施設においては、オンライン面会の利用を促進することで、感染のリスクを避けつつ家族との交流を可能にすることで、入所者の精神的な安定と安心の確保を図った。 （対象期間：令和3年4月1日～9月30日、上限10万円/事業所） ○感染拡大期において、事業所等で不足している衛生用品等を現物支給し、感染拡大阻止に寄与した。
7	伊勢つながるキャンペーン事業	①伊勢の産品が当たる「伊勢の思い出」募集キャンペーンの実施や観光情報発信により、伊勢の良さを共有できる展開を働きかけ、観光客と観光地を「つながり」とともに、コロナ禍で求められる対策等のアンケートを実施し、アフターコロナに向け来訪のリポート習慣と来訪機運を取り戻すきっかけをつくり、継続した観光客の獲得を図る。 ②伊勢つながるキャンペーン事業負担金 ③リピーター観光客への伊勢市観光情報の提供（7,000部） 1,432千円 委託費（キャンペーンHP・応募フォーム等作成・商品抽選発送等） 2,630千円 情報発信費 66千円 旅費 9千円 手数料等 663千円 ④観光客、観光協会	4,423	3,000	・10月28日から12月28日まで伊勢の思い出を募集 ・伊勢の思い出キャンペーン事業 応募者数：1,607人 応募者の中から特賞1名、本賞5名に選定した方及び抽選の200名に伊勢の産品を贈呈。	伊勢市外在住の方を対象に伊勢の思い出を募集し、伊勢の産品をプレゼントすることで、アフターコロナに向け伊勢参宮のリポート習慣の取り戻しを図り、また、伊勢市にゆかりのある方等が出演した伊勢の気持ち（心）が伝わる動画も作成し、観光客と観光地を「つながり」とともに、伊勢の産品・観光情報の発信を行った。加えて、観光客がコロナ禍で求める対策等のアンケートを実施し、観光まちづくりに活かした。
8	観光地等混雑緩和事業	①市内の駅構内や観光案内所等において、デジタルサイネージを用いた観光情報及び混雑状況を配信し、密集を避けた観光行動を促す。年始混雑時期は、観光地の交通と人の混雑状況を一体的に特集した情報発信を行い、観光時期の分散を図る。 ②観光地等混雑緩和事業負担金 ③デジタルサイネージ導入運用経費 7,590千円 （タッチパネル式サイネージ1か所・非タッチパネル式自立式モニター4か所購入設置等、混雑情報一体表示ページ作成、サイネージUIデザイン・開発費等） プロジェクト管理費 4,125千円 （配信機能実装及びコンテンツ表示調整営業経費等） 広報費、印刷製本費 1,800千円 （SNS広告・HP宣伝等経費、事業PR、HP周知用チラシ・ポスター等） 感染対策経費、簡易看板設置経費、事務手数料等 1,485千円 ④観光客、市民、観光協会	13,767	11,000	・市内観光エリアの混雑情報等を配信するデジタルサイネージを、12月末に全5か所（伊勢市駅構内、伊勢市手荷物預かり所、宇治浦田観光案内所、宇治山田駅観光案内所、二見浦観光案内所）に設置。 ・伊勢市観光協会HP内へ、情報発信LP（ランディングページ）を作成。 ・伊勢市駅構内に設置したサイネージにおいて、緊急地震速報等の情報の受信ができるように整備した（2月末～）。	設置したデジタルサイネージを通じて混雑状況や観光情報を発信することにより、観光客の方に密集を避けた観光行動を促すことができた。
9	避難所感染防止対策事業	①災害時の避難所において、避難者の避難スペースの密を避けること、受付時の密を避けることにより、新型コロナウイルス感染症の感染リスク低減を図るため、感染防止用の資機材を備蓄する。 ②③アルミマット（600個） 1,188千円 ワンタッチパーテーション（458個） 14,913千円 簡易ベッド（370個） 4,477千円 非接触スタンド式体温検知器（20個） 1,958千円 ④避難所での避難者及び避難所担当職員	18,992	18,000	・避難所用アルミマット：600枚 納品完了 ・避難所用パーテーション：458個 納品完了 ・避難所用簡易ベッド：370個 納品完了 ・避難所用サーモグラフィカメラ：20台 納品完了	パーテーション及び簡易ベッドなど感染拡大防止対策物品の確保により、避難所の開設時における感染防止・感染拡大防止が図られる。

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生活活用事業の効果検証

No	事業名称	事業の概要（計画提出時） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	決算額 （千円）	交付金充当額 （千円）	事業の実施状況	事業の効果検証
10	病院事業会計繰出金（新型コロナウイルス感染症対策分）	①市民が安心して受診できる医療体制を提供するため、新型コロナウイルス感染症の影響に対して支援を行う。 ②感染拡大防止に向けた取組に要する費用として市立伊勢総合病院事業会計に繰り出す。 ③感染拡大防止に向けた取組に要する費用 ・医療機器等物品購入等 15,508千円 ・業務増員（発熱チェック、HER-SYS等）、防疫作業 4,492千円 ④市立伊勢総合病院	20,000	19,000	病院事業会計で支出した新型コロナウイルス感染症対策経費に対して繰出実績額：20,000千円	感染対策の実施により、院内感染、クラスターの発生を防止し診療を継続することができた。
11	首都圏・関西圏期間限定店舗設置事業	①観光入込客数で多くの割合を占める首都圏・関西圏からの来訪がコロナの影響により減少し、市内事業者等の経営が悪化している。首都圏や関西圏の鉄道駅に隣接する大型商業施設内で、伊勢の名産品等を販売・PRする期間限定店舗「ISE SHOP」を開設し、新型コロナウイルス感染症の収束後も見据えた市内事業者の販路拡大と観光誘客につなげる。 ②③首都圏・関西圏期間限定店舗設置事業業務委託に係る経費 24,000千円 （事業全体のマネジメント、イベント等の企画立案、情報発信、施設管理会社・販売会社・市内事業者等との連携調整等） ・首都圏2か所（設置時期：令和3年10月～令和4年1月及び令和4年2月） ・関西圏1か所（設置期間：令和4年2月） ④伊勢市観光協会、市内の土産物店・飲食料品製造業者・小売業者等	22,583	21,000	首都圏2か所、関西圏1か所に期間限定店舗を設置 ①南町田グランベリーパーク（東京都町田市） 期間：R3.10.29（金）～R4.1.30（日） 取扱商品数：171品 売上品数：15,083品 売上金額：10,217,573円（税抜） 客数：7,932人 ②青葉台東急スクエア（神奈川県横浜市） 期間：R4.2.2（水）～R4.2.27（日） 取扱商品数：130品 売上品数：14,433品 売上金額：8,970,683円（税抜） 客数：5,870人 ③ららぽーとEXPOCITY（大阪府吹田市） 期間：R4.2.8（火）～R4.2.20（日） 取扱商品数：111品 売上品数：2,808品 売上金額：1,533,694円（税抜） 客数：1,136人	コロナ禍で観光客が減少する中、首都圏及び関西圏で地域産品を販売するとともに伊勢市のPRを行うことで、地域産品の販路拡大及び認知度向上並びに今後の誘客に繋がった。
12	みえ安心おもてなし施設認証支援事業	①②市民や旅行者の方が安心して利用できる施設を増やすため、「みえ安心おもてなし施設認証制度」*の認証を受けた事業者へ奨励金を支給する。 *三重県が基準に基づき現地確認のうえ、感染防止対策に取り組む事業者を認証する制度 ③封筒等購入 10千円 通信運搬費（通知書等800通）68千円 奨励金 50千円/1認証×541件=27,050千円 ④市内の飲食店、宿泊事業者、観光施設、土産物店、体験事業者	24,082	21,800	支給決定 387件(481認証)、24,050千円	奨励金の交付により、市内で481施設が認証を取得し、安心安全な環境整備に寄与した。
13	小学校感染防止対策事業	①新型コロナの状況下でも、学校における感染及びその拡大リスクを可能な限り低減した上で、学校運営を継続していくため、学校トイレ手洗い場の水栓を自動式及びレバー式に改修する。 ②学校トイレ手洗い場水栓改修費 ③小学校 17校440箇所 18,600千円 ④市立小学校	16,652	15,000	・自動式水栓・レバー式水栓設置 設置済 392箇所 16,652千円	トイレ手洗い場の水栓を自動式及びレバー式に改修することにより、児童等の感染及びその拡大リスクの低減を図った。
14	中学校感染防止対策事業	①新型コロナの状況下でも、学校における感染及びその拡大リスクを可能な限り低減した上で、学校運営を継続していくため、学校トイレ手洗い場の水栓を自動式及びレバー式に改修する。 ②学校トイレ手洗い場水栓改修費 ③中学校 4校80箇所 2,800千円 ④市立中学校	2,430	1,500	・自動式水栓・レバー式水栓設置 設置済 61箇所 2,430千円	トイレ手洗い場の水栓を自動式及びレバー式に改修することにより、生徒等の感染及びその拡大リスクの低減を図った。
15	ICT教育環境充実事業	①コロナ感染症対策として、密を避けた授業、集会・発表会等の学校行事の遠隔視聴や臨時休業時のオンライン授業等を円滑に実施するため、小中学校に電子黒板を整備する。 ②③電子黒板購入（130台） 29,453千円 ④市立小中学校	28,314	27,500	・電子黒板105式：12月契約、2月納品完了（契約額22,869千円） ・電子黒板25式：1月契約、3月納品完了（契約額5,445千円）	児童生徒の学びの機会の提供のため、オンライン授業等を円滑に実施する環境整備が推進された。

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生活活用事業の効果検証

No	事業名称	事業の概要（計画提出時） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	決算額 （千円）	交付金充当額 （千円）	事業の実施状況	事業の効果検証
16	放課後児童クラブ等感染防止緊急対策事業	①子どもへの感染拡大防止として、社会経済活動を幅広く止めることなく感染防止策の徹底を行いつつ、活動を継続する子どもの施設に対して感染症対策の強化を図る。 ②③ ・民間施設の感染症対策強化への補助 38,100千円 対象85施設、1施設の上限300千円～500千円 ・公立施設の感染症対策強化に係る整備 6,400千円 対象13施設 ・放課後児童クラブ等の感染症対策強化に係る経費 4,600千円 対象11施設 対象経費：トイレ等手洗い場の自動水栓化、室内抗ウイルス加工、サーキュレーター等感染対策強化に係る費用 ④保育所、認定こども園、小規模保育事業所、幼稚園、放課後児童クラブ、児童養護施設、障がい児施設等	13,202	3,000	・物品等購入関係 購入済：CO2測定器、除菌シート ・利用料補填 交付決定 35件、3,404千円 ・感染防止 交付決定 27件 9,152千円	●新型コロナウイルス感染症防止対策事業 放課後児童クラブや児童養護施設等において、感染症対策の徹底を図りながら学童保育や入所措置事業を継続実施するために、衛生用品や備品等の購入に係る経費を支援することで、施設の感染防止対策を継続して実施することができた。 ●利用料補填 緊急事態宣言下の新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、放課後児童クラブの利用を自粛した家庭の経済的支援のため、利用日数に応じて利用料の返還を行い、家庭の負担を軽減することができた。
17	保育所等感染防止緊急対策事業	①子どもへの感染拡大防止として、社会経済活動を幅広く止めることなく感染防止策の徹底を行いつつ、活動を継続する子どもの施設に対して感染症対策の強化を図る。 ②③ ・民間施設の感染症対策強化への補助 38,100千円 対象85施設、1施設の上限300千円～500千円 ・公立施設の感染症対策強化に係る整備 6,400千円 対象13施設 ・放課後児童クラブ等の感染症対策強化に係る経費 4,600千円 対象11施設 対象経費：トイレ等手洗い場の自動水栓化、室内抗ウイルス加工、サーキュレーター等感染対策強化に係る費用 ④保育所、認定こども園、小規模保育事業所、幼稚園、放課後児童クラブ、児童養護施設、障がい児施設等	19,283	3,642	・物品等購入関係 購入済：除菌シート、CO2測定器 ○公立保育所及び認定こども園 購入済：プロジェクター及びスクリーン、壁掛け扇風機等 ・補助金関係 ○民間保育所等 交付決定 28件、13,000千円 ・自動水栓設置 ○公立保育所及び認定こども園 設置済 5箇所、2,926千円	子どもへの感染拡大防止対策として、社会経済活動を止めることなく感染防止策の徹底を行いつつ、保育活動等を継続して提供していくため、感染症対策の強化に必要な設備の整備や備品等の購入に係る経費を支援することで、衛生管理の徹底と感染防止対策の継続的な環境整備を行った。 ●保育所等感染防止緊急対策用物品購入（公立 10施設、私立 28施設） ●公立保育所等衛生用品等購入費（公立 10施設） ●公立保育所等自動水栓設置工事（公立 5施設） ●伊勢市民間保育所等新型コロナウイルス感染症緊急対策事業補助金（私立 28施設）
18	中小企業者緊急支援金	①国や県の支援金を受ける中小企業者の経営は厳しい状況にある。事業継続を支えるため、売上が大幅に減少した中小企業者に支援金を支給する。 支給要件： （1）伊勢市内に店舗を有する又は本店（住所）を有する中小企業者 （2）三重県の地域経済応援支援金又は酒類販売事業者等支援金を受給していること 支給額：三重県の支援金と同額 （1件につき上限100千円～1,200千円） ②支援金支給に係る経費 ③封筒等購入 16千円 通信運搬費（通知書等1,000通） 84千円 広告料 700千円 支援金（980件） 168,000千円 ④伊勢市内に店舗を有する又は本店（住所）を有する中小企業者	142,801	138,395	支給決定 826件、142,733千円	国、県の支援金を受けてもなお厳しい状況にある中小企業者826社の事業継続に寄与した。